

## リーチサイト問題と違法コンテンツ拡散機能の階層化

安田 和史<sup>†</sup> 清水 利明<sup>††</sup>  
鈴木 香織<sup>†††</sup> 北林 理沙<sup>††††</sup>

リーチサイトに関する研究は、「平成23年度知的財産侵害対策WG等侵害対策強化事業『リーチサイトにおける知的財産権侵害実態調査』」として、経済産業省の委託を受け進められている。報告においては、リーチサイト問題に関し、違法コンテンツの拡散機能が階層化されていることについて考察を行う。

Kazufumi YASUDA<sup>†</sup> Toshiaki SHIMIZU<sup>††</sup>  
Kaori SUZUKI<sup>†††</sup> Lisa Kitabayashi<sup>††††</sup>

### 1. 本研究の経緯

報告者が行っているリーチサイトに関する研究は、「平成23年度知的財産侵害対策WG等侵害対策強化事業『リーチサイトにおける知的財産権侵害実態調査』」として、経済産業省の委託を受け、「実務的対応」と「法的対応」の両面から調査研究を進めているものである。プロジェクト総括は、電気通信大学特任助教渡邊恵理子氏<sup>1</sup>であり、この調査研究の基盤となっているシステムやプログラムの開発や運営を行っている。更に、実態調査に関しては、委員長に東海大学法科大学院の角田政芳教授を招致して進められている。

本研究には、技術的調査により裏付けることを要する。そこで、統括を行っている渡邊氏により開発がなされた光相関技術を利用した動画・画像検出技術を基礎として、リーチサイト問題に関係する様々な情報を取得することとなった。

#### <調査の経緯>

日本女子大学 光相関技術を利用した動画・画像検出技術を開発  
株式会社 PSS 学内ベンチャー制度で法人化  
違法動画削除処理サービスを提供  
経済産業省委託調査事業



- ・平成20年度「動画識別システムを用いた海賊版実態調査研究」
- ・平成21年度「自動動画検索技術を用いた海賊版対策に係る調査」
- ・平成22年度「コンテンツ不正流通対策の共同検知システムの実証実験」
- ・平成23年度「リーチサイトにおける知的財産権侵害実態調査」

平成22年度までの調査研究においては、技術的な面が中心だったが、平成23年度からは具体的な解決策を模索するため、法的な側面も併せて検討を進めることになった。

<sup>†</sup> 安田 和史 国立大学法人電気通信大学産学官連携研究員・株式会社スズキアンドアソシエイツ

<sup>††</sup> 清水 利明 国立大学法人電気通信大学産学官連携研究員

<sup>†††</sup> 鈴木 香織 国立大学法人電気通信大学産学官連携研究員・株式会社スズキアンドアソシエイツ代表取締役社長

<sup>††††</sup> 北林 理沙 国立大学法人電気通信大学客員研究員

<sup>1</sup>電気通信大学特任助教渡邊恵理子氏は、日本女子大学から現在の電通大に転籍されている。

## 2.リーチサイトに関する政府内での検討

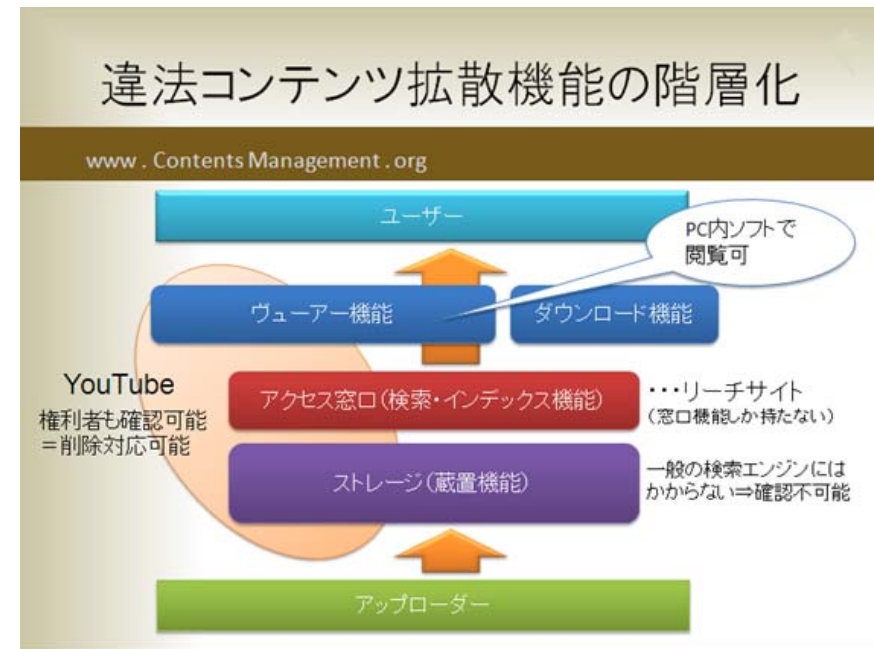
なお、現在リーチサイト問題について取り扱った事のある政府内での検討の状況については、知的財産戦略本部 コンテンツ強化専門調査会、インターネット上の著作権侵害コンテンツ対策に関するワーキンググループ、著作権分科会国際小委員会、著作権分科会 法制問題小委員会司法救済 WT 等にて項目としてあげられているが、まだ問題提起の段階であるといえる。

## 3.問題の背景

近年、インターネットを通じた著作権侵害コンテンツの拡散は増大する傾向にある。特に YouTube など大手動画投稿サイトでは、アニメやテレビ番組が放送されるとすぐに、CM をカットされ、さらに字幕などの加工を施された状態で、投稿されるケースが後を絶たない。このような投稿サイトでは、違法投稿コンテンツ対策として、検出及び削除システムを提供することにより、実務的対応を行なってきたところである。しかしながら、最近では、インターネット上の著作権侵害行為を大きく拡大させる侵害事例として、ストレージサイトと、リンクサイト若しくは独自検索エンジンという、別々のサービスを組み合わせて、ユーザーに違法投稿コンテンツへアクセスさせるという事例が、国内外において見られるようになってきた。このような問題の中心的な役割を担っているのがリーチサイトであり、リーチサイトは「違法コンテンツの拡散機能の一つを担っており、侵害コンテンツそのものを直接的には掲載していないものの、侵害コンテンツへのリンクを集めて掲載しているサイト」として違法コンテンツの問題を複雑化しているといえる。

## 4.リーチサイトの役割と階層化

リーチサイトは、違法コンテンツ拡散機能においてどのような役割を示しているのだろうか。問題を明らかにするため、以下の図を用いて説明をする。



従来の方式について YouTube を例に挙げて説明する。

YouTube は、①ストレージ機能(保存)、②アクセス窓口機能(検索やインデックス)、③ビューア機能(視聴)という3つの機能を有している。これにより、権利者は YouTube 上の検索機能を使い、違法コンテンツを検索し発見した後に削除ツールで削除するのが一般的な違法コンテンツへの対応策であった。しかしながら、この中のアクセス窓口を別途のサイトで担う機能を有しているのがリーチサイトであり、この機能を用いることで従来の削除ツールを有効に利用できないとする問題があった。すなわち、リーチサイトがあることで、YouTube 内の検索にかからないように制限つきでアップロードしてしまえば、YouTube の検索システムに頼って侵害コンテンツを発見することは困難であるといえ、より深いところに侵害コンテンツを潜らせることが可能になる。この問題が、拡散機能の階層化であるといえ、その一部分を担っているリーチサイトの問題の所在といえる。

## 5.リーチサイトの類型

リーチサイトには、「検索エンジン型サイト」および「まとめ型サイト」に分けることができる。検索エンジン型サイトは、例えば「[Woopie,truveo](#)」に代表されるサービスが想定されている。検索エンジン型サイトは、システムがロボティックにクロールし、様々な動画共有サイトの動画をまとめて閲覧できる。「まとめ型サイト」は、アニポ、[Youtube](#) ドラマまとめ無料動画に代表されるものである。具体的には、サイト事業者が意図的に海賊版動画をまとめてインデックス化し、リンクを付けている。なお、「リンクはサイト事業者が自主的に行う場合に加えて投稿型の場合もある。

### リーチサイトの類型

#### 検索エンジン型サイト

・システムがロボティックにクロールし、様々な動画共有サイトの動画を纏めて閲覧できるタイプ。

EX, [Woopie](#)、[Truveo](#)

#### まとめ型サイト

・サイト事業者が意図的に海賊版動画を纏めてインデックス化し、リンクをつけているタイプ。

・そのリンクはサイト事業者が自主的に行う場合に加えて投稿型の場合もある。

Ex, [アニポ](#)、[YouTube](#) ドラマ  
まとめ動画



ここで検索エンジン型サイトの代表例として [Truveo](#) を紹介する。[Truveo](#) とは、[AOL](#) が提供している動画検索サービスの名称である。[Truveo](#) では、[YouTube](#) や [Google Video](#) に代表される動画共有サイトのコンテンツを一括して検索することができる。検索アルゴリズムは動画の検索のために最適化されている。人気の動画を一覧できるほか、検索対象を「スポーツ」や「エンターテインメント」などジャンル別に絞ったり、配信元（チャンネル）を限定して動画を探したりすることも可能となっている。2007年10月には、[Truveo](#) の日本語版サイトが、他の言語のバージョンとともに開設された。

## 日本語検索結果

www . Contents Management . org

Channels	Count
YouTube	67
News24	6
Asahi	4
MSNビデオ日本	2
iTunes	2
Reuters	1

横断的な検索が行える

日本語版 Truveo では、日本語での検索が可能である他、YouTube などと並んで国内で人気の高いニコニコ動画などの日本語版動画共有サイトが検索結果として優先的に表示されるようになっているとされる。また、カテゴリーによる検索も可能であり、「Twitter で話題のもの」等のカテゴリーもあり、このサービスは検索以外の多くのサービスが他社のサービスと協調関係にあることがわかる。

## iPhone アプリも提供されている

www . Contents Management . org

Featured Videos

23 search results for "Featured Videos"

- Return of the Steve  
2m:34s  
All Things Digital  
Thu, 10 Sep 2009
- Taylor Swift Reacts to Kanye...  
1m:50s  
MSN Video  
Mon, 14 Sep 2009
- ShowBiz Minute: Travers, Skin...  
AP Video  
Thu, 17 Sep 2009
- NFL on FOX: MIN-DET Preview  
1m:35s  
FOX Sports  
Sat, 19 Sep 2009
- Susan Boyle sings Stones  
CNN  
Fri, 18 Sep 2009

iPhone 上で利用されるアプリも提供されており、よりアクセスし易いビューアが無料で配布されている。これも、アクセス数を稼ぐさまざまな仕組みのひとつである。このように、AOL が提供していることもあり、初期のユーザー数を一定規模稼ぎながら、その後の展開を図っているのだと思われる。

## 検索型サイトの考え方

www.ContentsManagement.org



- 違法コンテンツに特化して検索ができるわけではない。
- 動画共有サイト側にあるコンテンツをロボティックに拾ってきている。

検索エンジン型リーチサイトは、基本的には、動画共有サイトを横断的に検索できるに過ぎない。また、違法コンテンツに特化して検索ができるものは、実態調査として調べた限りでは、見受けられないという状況がある。

違法コンテンツを積極的に掲載している状態は、一部の検索エンジン型サイトでは、徐々に改善されてきているとも感じられている。特に、周知性の高いサイトは、企業により運営されている場合が多く運営もとが明らかになりやすいため問題があれば対応してもらえることがある。

## 7.まとめ型サイト

まとめ型サイトとは、サイト事業者が意図的に海賊版動画を纏めてインデックス化し、リンクをつけているタイプ。リンクはサイト事業者が自主的に行う場合に加えて投稿型の場合もある。図に挙げた YouTube ドラマまとめ動画は、殆どのケースで違法コンテンツへのリンクを掲載しているばかりか、利用者の利便性を高めるために多くの人気機能を付加する等工夫をしている。①Youtube 動画へのコメント欄（閲覧者のコメント集）、②曜日ごとのドラマアーカイブ、③ドラマランキング、④50音順インデックス、⑤放映終了の人気作品アーカイブ、⑥アニメ、音楽などの他のコンテンツへ移動しやすいインデックスなどが組み込まれていることなどが挙げられる。

## どのように動画ファイルにたどり着くのか？

www.ContentsManagement.org



### 8. リーチサイトはどこにリンクをしているのか

リーチサイトのリンク先として多いケースはメガビデオとパンドラTVが挙げられる。メガビデオは、香港の企業が開設した動画共有サイトであり、様々なユーザーに対する特典を設けるなど、多くの利用者を集めていることが知られている。しかしながら、そのサイトの中ではかなり多くの違法コンテンツが流通していることがわかっている。また、パンドラTVは韓国の企業が運営しており、こちらは一定程度侵害対応を進めているとされているが、未だに多くの違法コンテンツがアップロードされ続けており、十分な対応がなされていないと知る問題がある。

## これらのサイトの保存先として多いもの

www.ContentsManagement.org

### ストレージサイト

#### メガビデオ



#### パンドラTV



結局のところ、過去において違法コンテンツが氾濫していたYouTube等は違法コンテンツに対する問題への対策が進んだが、一方で違法コンテンツはそれと似たような新しく登場したサービスに移行しているといえよう。

### 9. 階層化による今後の展開

階層化することによって、これまでは一つのプラットフォームを対象とした対策でよかったものがいくつかのサービスに分散されることになることからそれぞれのサービスに対して対応していく必要が出得るという問題がある。

例えば、エンタランス機能についてリーチサイトが役割を担うようになれば、リーチサイトがハブになり汎用的なサービスを複合的に結び付けることで、違法コンテンツを流通させることができるようになるのである。

このことにより、汎用的なサービスの提供者はそのビジネスモデルについての意図とは別に、違法コンテンツについてのいわゆる「方棒」を担がされる恐れがある。

## 完全役割分担する場合もあり問題といえる

www . Contents Management . org



### 10. さいごに

違法コンテンツへのリーチサイトが著作権侵害の責任を負うかという点については考慮要素の検出が進行中である。考慮要素を詳細に検討する理由は、適法な事業者の事業活動と違法性の強い業者を振り分ける必要がある。単なるリンクということであれば著作権侵害とは言えないが、サイト運営者の行為等を分析することによって、直接侵害と擬制しうる可能性がある。3月に報告書を提出し、その後公開が予定されているため、これらのデータを前提として、多方面からの議論をしたいと考えている。

以上